

日本には、^{ふうこうめいび}風光明媚といわれる名所・景勝地が多くあります。初めて見た時の「きれいだな」「気持ちいいな」という感動が落ち着いたら、一歩進んで、その風景ができた理由を推理してみませんか？そこにたくさんの新しい発見があるかもしれません。

洞爺湖有珠山ジオパークでは、有珠山や昭和新山など、火山そのものはもちろん、「火山・マグマがつくった風景」も見ることができます。

洞爺湖北西の台地



洞爺湖町の花和・成香・香川・大原地区に広がる台地。約 11 万年前の巨大噴火の噴出物が、周囲の土地を平らに埋め立てました。

根菜、葉物野菜、トマトなどの果菜類が作られる恵みの大地です。

礼文華キャンプ場



豊浦町の礼文華キャンプ場の海辺に、三角形の岩と細長い岩があります。

これらの岩は、地下深くから、地盤のすきまに沿って上がってきたマグマが、地下の途中で冷えて固まったものです。

白絹の床



伊達市大滝区北湯沢で見られる風景。長流川の川底が、白やオレンジに輝き、まるで絹を流したかのように見えます。

約 1000 万年前、海の底だったこの場所で、マグマに熱せられた水が地層の成分を変えて白くなったものです。

新山沼



壮瞥温泉「ゆーあいの家」のすぐとなりにある新山沼。この沼は 1944-45 年に昭和新山が誕生した時、壮瞥川がせき止められてできました。

ここでは野鳥の姿が多く見られます。